

保護者のみなさまへ

令和元年11月13日  
(2019年)

吹田市立津雲台小学校  
校長 瀬崎 浩美

## 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析

#### ●国語《概要》

今回の学力調査は、全国値を上回る結果でした。

#### ●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 話すこと・聞くこと

・「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」ことは、全国値を上回り、よく理解できていました。

##### 書くこと

・「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」ことは、全国値を上回っていますが、課題が見られました。

##### 読むこと

・「目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読む」ことは、全国値を上回り、よく理解できていました。

#### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」ことは、一部全国値を下回り、やや課題が見られます。

#### ●国語科における成果と今後の改善点について

全体的に、全国値を上回り良好な結果でした。特に、話す・聞くに関しては、伝え合う力をテーマに、粘り強く取り組んできたことが成果となっているのだと思います。ただ、例年に比べると無回答率が高く、記述式だけでなく、選択式問題においても回答できていませんでした。別な資料から文を選んで組み合わせ、要約することが苦手なことや、漢字が読めないことで正しく答えられないことに課題が見られました。今後は課題となる以下の点について、取り組みを進めます。

- ・要約した文章を書くために、問題文の条件や本文に戻って確認する指導を日常から行う。
- ・同音異義語について注意し、漢字の持つ意味を考えて、文や文章を正しく使うことができるような学習活動を取り入れ、初見の文章でもしっかり読める取り組みを行う。
- ・文や文章を書く際には、学習した漢字を使う習慣が身につくようにする。
- ・辞書を日常的に活用し、辞書をひくことを習慣づける。

#### ●算数《概要》

今回の学力調査は、すべての問題で全国値を上回る結果でした。

#### ●算数《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 数と計算

・「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」ことは、課題が見られました。

##### 量と測定

・「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」ことは、よく理解できています。

##### 図形

・「図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる」ことは、よく理解できています。

##### 数量関係

・「資料の特徴や傾向を関連付けて一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる」ことは、全国値を上回っているが課題が見られます。

## ●算数科における成果と今後の改善点について

全体的に、全国値を上回り良好な結果でした。しかし、問題文から必要な情報を抜き出しとめる力や順序立てて式を組み立てることに課題が見られました。今後は課題となる以下の点について、取り組みを進めます。

- ・途中の式を書かせ、図や式、言葉などの決められた条件を基にして、求め方を文に表す機会を増やす。
- ・授業の中で算数と日常を関連付けて学習し、算数が身近なものとなるよう具体的な場면을イメージできる取り組みを行う。
- ・自分の考えを書いたり、発表したりする機会を今後も多く取り入れる。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】 \*「どちらかといえば当てはまる」を含む

- ・「朝食を毎日食べている」と答えた児童は、全国値を上回っていますが、起床時間や就寝時間が不規則な児童が比較的多いです。
- ・「自分には良いところがある」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」と答えた児童は、全国値を下回っています。
- ・「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童は、全国値を上回っています。
- ・「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と答えた児童は、全国値を上回っています。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」という質問に、「当てはまらない」と答えた児童はいませんでした。しかし、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は、全国値を下回っています。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童は、全国値を上回っていますが、「地域の行事に参加」「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と答えた児童は、全国値を下回っており、社会参画への意識が低いです。
- ・「学校の授業以外に普段どれくらい勉強しているか」の質問は、2時間以上と答えた児童が多いですが、家庭で勉強している児童よりも塾に行っている児童の割合が高いです。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童は、全国値を上回っています。
- ・学校の図書室や地域の図書館の利用に関する質問では、「ほとんど行かない」「全く行かない」と答えた児童は、全国値を下回っており、普段でも図書室や図書館を利用する児童は多いです。
- ・「新聞を読んでいる」の質問は、「ほとんど毎日」「週に1～3日」と答えた児童が全国値を上回りよく読んでいます。

【教科・学習について】 \*「どちらかといえば当てはまる」を含む

- ・国語の授業では「目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしているか」の質問に、肯定的な回答は全国値を下回っています。

・算数の授業では「公式やきまりを習うときそのわけを理解する」「問題の解き方や考えがわかるようにノートに書く」と答えた児童は、全国値を下回っています。

・5年生までに受けた授業について、「課題解決に向けて自分で考え自分で取り組んだ」「発表する機会、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と答えた児童は、全国値を下回っていました。

・国語・算数ともに、「普段の生活の中で活用できるか、役に立つか」の質問は、肯定的な回答は全国値を下回っています。

・国語・算数ともに、「すべての問題で最後まで回答を書こうと努力した」と答えた児童は、全国値を上回っており、最後まで粘り強く問題に取り組もうという姿勢が見られます。

## 3 今後の取り組み

今回の全国学力・学習状況調査は、全体的に全国値を上回る結果となり、日頃の子どもの学習への姿勢が反映されたものとなりました。これも保護者のみなさまが、子ども達の学習環境作りに日々留意して下さっているおかげです。今後も引き続き子ども達に安定した学習環境と健康な生活リズムを作ってくださいようご協力お願いいたします。今後は調査によって明らかになった課題について検証し、その課題解決に向けた取り組みを充実させていきます。

学習面においては、学習したことが日常生活に役立っていることを実感できるような授業を目指します。また、自分の考えを書いたり発表する機会を今後も多く取り入れていきます。

学習環境や生活環境調査結果においては、引き続き子ども達の良いところを認めるとともに、子ども達が失敗しても大丈夫という安心感を持てる環境を作り、自尊感情を育んでいきたいと思えます。また、子どもが自主的に活動できる場面を作り、自分たちで企画し、協力し合う取り組みをすすめていきます。

学校・家庭・地域との連携をさらに深めて参りますとともに、今後とも学校の取り組みにご理解ご協力をよろしくお願いいたします。